

プロジェクト演習版・社会人基礎カテゴリーブック

構成要素		4	3	2	1	
1 基礎的素養	読み	文章読解能力 論理的思考力 分析力	難解で長大な文章でも、論旨を的確に捉えることができる。筆者の主張を論理的に理解・分析し、自らの見解を組み立てることができる	比較的平易で短い文章であれば、論旨を的確に捉えることができる。筆者の主張を理解・分析し、自らの見解を組み立てることができる	比較的平易で短い文章であれば、ほぼ最後まで読み通し、筆者の主張をある程度までなら理解・分析することができる	比較的平易で短い文章であっても、最後まで読み通すことができない。たとえ読み通せても、筆者の主張を理解・分析することができない
	書き	文章作成能力 論理的思考力 分析力	特定のテーマについて、論理的に思考・分析することができる。必要な資料をルールを踏まえて提示しつつ、4,000字以上の論旨が明確な文章にまとめることができる	特定のテーマについて、論理的に思考・分析することができる。必要な資料をある程度ルールを踏まえて提示できる。4,000字以上の文章を書いた経験は無い	特定のテーマについて、短い文章を書くことができる。論理的な思考・分析や、必要な資料をルールを踏まえて提示することには難がある	「つぶやき」的に短い文章を書くことはできるが、論理的な思考や分析を提示することはできない
	ソロバン	基本的なIT能力	基本的なソフトの操作法やネット利用のルール等について、初心者に分かりやすく説明することができる	基本的なソフトの操作法やネット利用のルール等について、基本的にマニュアル無しで自力で対応できる	基本的なソフトの操作法やネット利用のルール等について、マニュアルを参照しながら自力で対応できる	基本的なソフトの操作法やネット利用のルール等について、自力では対応できない
	話す	説明能力 プレゼンテーション能力 コミュニケーション能力	公の場で、相手の理解度や受け止め方を読み取りながら、説得力のある説明・魅力的なプレゼンができる。質問や批判をコミュニケーションの機会と受け止めることができる	公の場で、論理的な説明やプレゼンができる。アイコンタクト等、聞き手とのコミュニケーションに難があり、質問や批判には思わず身構える	フランクな場では、論理的な説明やプレゼンができる。アイコンタクト等、聞き手とのコミュニケーションもとれ、質問にも平穏心で答えられる	親しい人たちとの気楽な会話・コミュニケーションはできるが、第三者への論理的な説明やプレゼンはできない
2 社会生活力	生活力	自立した生活を実践できる力	起床・食事・登校・各種活動から就寝まで、健康的で安定したペースで送ることができる。社会生活に必要な諸手続を、確実にこなすことができる	起床・食事・登校・各種活動から就寝までのペースが乱れがちである。社会生活に必要な諸手続を、確実にこなせない(うっかり忘れる)ことがある	起床・食事・登校・各種活動から就寝までのペースがしばしば乱れる。社会生活に必要な諸手続を、確実にこなせないことがある	起床・食事・登校・各種活動から就寝まで、健康的で安定したペースで送ることができない。社会生活に必要な諸手続を、確実にこなすことができない
	人間関係構築力	生活を送る上で必要な、人間関係を円滑にするための力	差別的物言いや不正な対応をしない等の基本ルール、並びに挨拶や場に応じた言葉遣い・態度がとれる等の基本マナーを、常々確実に遵守できる	差別的物言いや不正な対応をしない等の基本ルール、並びに挨拶や場に応じた言葉遣い・態度がとれる等の基本マナーを、時に違えることがある	差別的物言いや不正な対応をしない等の基本ルール、並びに挨拶や場に応じた言葉遣い・態度がとれる等の基本マナーを、しばしば遵守できない	差別的物言いや不正な対応をしない等の基本ルール、並びに挨拶や場に応じた言葉遣い・態度がとれる等の基本マナーを、遵守できない
	情報収集力	生活を送る上で必要な情報のありかや、入手方法を把握する力	書籍を含む各種メディアや人脈等を広くかつ有効に活用して、情報の入手方法を的確に把握し、必要な情報を確実に入手できる	情報のありかも情報入手するための新たなルートの開拓方法も把握している。しかし各種メディアの活用や人脈等が不十分で確実性に難がある	生活を送る上で必要な情報のありかはある程度把握している。しかし情報入手するための新たなルートを開拓する方法は分からない	生活を送る上で必要な情報のありかが分からない。どうすれば情報を入手できるかも分からない
3 行動力	主体性	物事に進んで取り組む力	物事を自分の問題として受け止め、指示や命令・切迫した必要などが無くても、自らの定見・計画に基づき、自主的に判断して取り組むことができる	明確な義務を伴う事案については、責任感から率先して取り組むことができる	自らの利害や、興味関心が強い事柄については、自主的に取り組むことができる	指示や命令・切迫した必要があっても、できるだけ他人の後に付いていくことを考え、積極的に取り組むことができない
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力	立場の異なる人や初対面の人にも、課題について説得力のある説明をし、協力を促すことができる。また、自分の意見に固執せず全体を纏めることができる	学生同士など、立場の近い人に対しては、さほど親しくなくとも課題を分かりやすく説明し、協力を促すことができる。また他のメンバーへの気配りもできる	親しい友人に対しては、課題について説明し、協力を促すことができる	第三者に対して課題を説明し、協力を促すことができない。或いは、協力を促せるが発言の独り占め・攻撃的言動等で協力者の意欲を阻害させがちである
	実行力	目的を設定し確実に行動する力	明確な目的を設定し、自分の能力や客観的な諸条件を的確に踏まえた計画を立て、迅速かつ粘り強く行動していくことができる	目的を設定し迅速に行動していくことができるが、計画性に難があり、迷走することもある	目的を設定し、行動して行くことができるが、迅速さや粘り強さに難があり、所期の目的を達成できないこともままある	目的を設定できない。あるいは設定してもその達成に向けて確実に行動することができない
	対応力	物事に流されず疑問に思い主体的に対応する力	賛同者の多寡・声の大小に拘わらず、客観性や自らの定見に照らして疑問がある事柄には、関係情報を検討・確認した上で主体的に対応する	賛同者の多寡・声の大小に拘わらず、自分の意見に合わないものであれば反対の意思表示をすることができる	賛同者の多い意見や、「声の大きい」意見に疑問を感じることもあるが、敢えて主張することはしない	賛同者の多い意見や、「声の大きい」意見には、疑問を抱かず従ってしまいがちである
4 思考力	課題発見能力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	現状を分析し、背景や原因を追究した上で、事態を解決・改善するためには何が必要かを把握し、明確に言語化して第三者にも提示できる	現状を分析し、背景や原因を追究した上で、事態を解決・改善するためには何が必要かを把握できるが、明確に言語化することができない	現状を分析し、背景や原因を追究することはできるが、事態を解決・改善するためには何が必要かを把握することができない	現状を、漠然とした諸事象の集合としてしか認識できず、分析や課題発見ができない
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	解決の為のプロセス案を複数用意でき、最善の物を選んで解決までの具体的な手順・作業内容・時間配分等を、チーム活動のレベルで構築できる	解決の為のプロセスを立案し、解決までの具体的な手順・作業内容・時間配分等を、個人活動のレベルで構築できる	解決の為のプロセスを立案し、解決までの道筋を構想できる	解決の為のプロセスを立案することができない。或いは、立案はできるが解決までの道筋を構想できない
	想像力	課題が抱える影響課題解決方法の影響等、ものごとをイメージする力	課題自体や解決に向けた取り組みがもたらす影響といった「目に見えない物」について明確なイメージを持ち、その得失を念頭に的確な対応ができる	「目に見えない物」をイメージでき、その得失を念頭に考慮を考えるが、イメージの多様性と明確性に難があり、的確な対応策を描けない	「目に見えない物」をイメージし、その得失を念頭に考慮を考える必要性は認識しているが、明確なイメージを描けない	課題自体や解決に向けた取り組みの影響といった「目に見えない物」についてイメージすることができない。またイメージする必要性を自覚しない
	課題解決能力	課題の本質を捉え、適切な解決に導く力	課題の本質を捉え、解決のための勘所を明確にした上で、具体的な取り組みに必要な条件を整えて確実に解決に導くことができる	課題の本質を捉えることができ、解決のための勘所を明確にできるが、具体的な勘所に必要な諸条件の整備に難があり、失敗も多い	情報を客観的に分析して課題の本質を捉えることができるが、解決のための勘所を捉えることができず、適切な解決に導くことができない	周辺情報や個人的利害・感情等に囚われて、課題の本質を捉えることができず、課題解決に取り組めない
5 チームワーク能力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力	自分の意見を、相手の立場や前提となる知識・文化的背景の違い等も視野に入れて整理し、分かりやすく説得力のある内容・話法で伝えることができる	自分の意見を論理的に整理し、知識・文化の共有が乏しい相手に対しても、明確な内容・話法で伝えることができる	自分の意見を、家族や友人等、基盤となる知識・文化を共有する相手に対しては、その共通性に依拠しつつ分かりやすい内容・話法で伝えることができる	自分の意見を整理し、分かりやすい内容・話法で伝えることができない
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力	話者が話しやすい環境を作り、適切なタイミング・内容の質問等で話者の意図を更に引き出しつつ、最後まで集中力を切らさずに聴くことができる	話者が話しやすい環境を作り、最後まで集中力を持って聴くことで、話の筋を正確に把握できる	一見最後まできちんと聴いているが、集中力が続かず、話の筋を正確に把握できない	目を逸らしたり話の腰を折ったりして、話者にとって話しにくい条件を作ったり、注意力を切らして最後まできちんと聴くことができない
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力	相手の意見・立場によって考え、「違う」ことを前提に、相手を理解することができる。自分の意見に固執せずアドバイスを進んで受け入れられる	自分と異なる意見・立場があることを認識でき、アドバイスも素直に受け入れることができる	自分と異なる意見・立場への違和感が強く、アドバイスを受け入れることにも抵抗感を感じる	自分と異なる意見・立場が存在することを許容できない。アドバイスを攻撃と受け止め、受け入れることができない
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力	組織における自分の責務を正確に認識し、自分の意思や言動が相手にどう影響するかを考慮しつつ、組織全体を視野に臨機応変な対応ができる	組織における自分の責務を正確に認識し、組織全体を視野に入れて行動しているが、相手への影響を気にしすぎて臨機応変な対応ができない	「組織の構成員としての自分」という意識はあるが、自分の意思や言動が相手にどう影響するかという意識に乏しく、臨機応変な対応ができない	「組織の構成員としての自分」という意識が無く、物事を自分中心にしか考えられないため、臨機応変な対応ができない
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力	法令や規則は勿論、チーム内での取り決め等についても、決められたことは不本意でも遵守する。高い倫理観を持ち、自ら公平公正に努める	法令・規則・チーム内の取り決め等、明確に決められたことには従うが、公平公正等、本人の倫理観に拠る事柄への意識は高いとは言えない	罰則を伴う法令や規則等は遵守するが、チーム内の取り決め等は軽視する。公平公正への意識が低く、往々にして我田引水に陥る	時間厳守等、社会常識レベルの取り決めも遵守できない。公平公正への意識が低く、しばしば我田引水に陥る
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力	ストレスを感じても成長の機会と前向きに捉え、平穏心で冷静な判断を下しつつ課題を遂行できる。また、気晴らしの方法を持っている	ストレスを感じても平穏心で冷静な判断を下しつつ課題を遂行できる。しかし前向きに捉えたり気晴らしをすることはできず、不満を蓄積させる	ストレスを感じても投げ出さず、概ね適切に判断し課題を遂行できる。しかし気晴らしの方法もなく、終始イライラして攻撃的になる	ストレスを感じても、適切な判断や課題遂行ができなくなる。気晴らしの方法もないため、終始イライラして攻撃的になる